

CITATION MULTIBEAM 1100

/



取扱説明書

／ 重要な安全上の注意

使用前に電源電圧を確認する

CITATION MULTIBEAM 1100サウンドバーは100-240ボルト、50/60HzのAC電流で使用できるように設計されています。本製品が対応していない電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、本機に損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がございましたら、壁のコンセントに本機をつなぐ前に販売店にご連絡ください。

延長ケーブルは使用しない

危険を回避するため、本機に付属した電源ケーブル以外は使用しないでください。本製品に延長ケーブルを使用することはお勧めできません。全ての電気器具と同様、電源ケーブルをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置いたりしないでください。破損した電源ケーブルが同梱されていた場合は、認定サービスセンターが直ちに工場の仕様に適合したものに取替えます。

AC電源ケーブルは丁寧に扱う

ACコンセントから電源ケーブルを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にケーブルを引っ張らないでください。長期間スピーカーを使用するつもりがない場合は、ACコンセントからプラグを外してください。

本体を分解しない

本製品内にはお客様が修理できる箇所はありません。本体を開けると感電する可能性があり、製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、認定サービスセンターにご相談ください。

/ 目次

重要な安全上の注意.....	2
はじめに.....	4
同梱品.....	5
製品の概要.....	6
設置.....	11
接続.....	14
設定.....	29
その他のCITATIONスピーカーの設定（別売）.....	35
再生.....	37
サウンドの設定.....	48
工場出荷時設定への復元.....	50
ソフトウェアのアップデート.....	51
製品の仕様.....	53
トラブルシューティング.....	55
商標.....	60

/ はじめに

この取扱説明書にはHarman Kardon Citation MultiBeam 1100 (サウンドバー) の情報が記載されています。お時間を割いて、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。製品の説明と、設定してスタートするための手順が記載されています。製品をご使用になる前に、安全上の注意を全てお読みになって理解しておいてください。

本製品では重要なソフトウェアアップデートがご利用いただけます。本製品をWi-Fiに接続するには指示に従い、確実に製品の最新のソフトウェアアップデートを行ってください。

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。

特定の機能を使用するには、一部の国では利用できない定額利用契約、またはサービスが必要です。

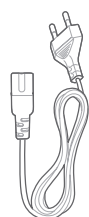
この製品、その設置または操作について何かご質問がありましたら、Harman Kardon製品小売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.harmankardon.comにアクセスしてください

／ 同梱品

注意して箱を開封し、以下の部品が同梱されているかどうかをチェックしてください。いずれかの部品が破損している場合は、Harman Kardon製品小売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。



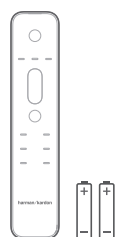
1



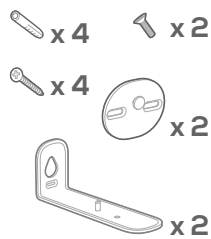
2



3



4



5

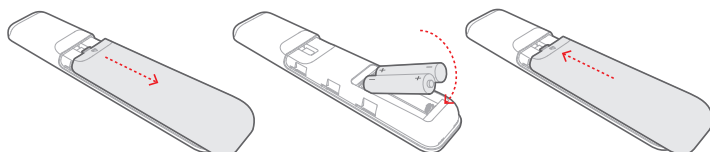


6

1. 本体
2. 電源ケーブル*
3. HDMIケーブル
4. リモコン (単4乾電池2本付属)
5. 壁取り付け用キット
6. 製品情報&壁取り付け用型紙

*電源ケーブルの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

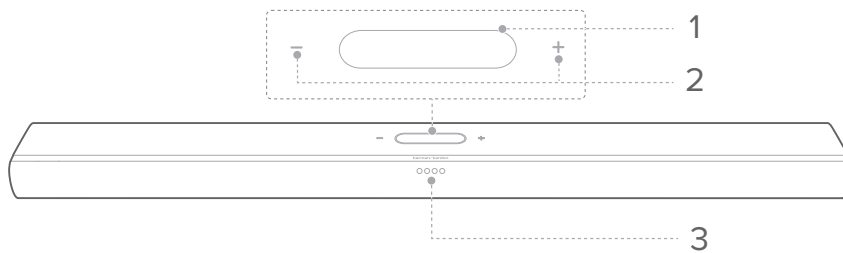
リモコンの使用前にリモコンに電池を入れます (単4乾電池x2)



完全に外れるまで、電池カバーを矢印の方向にスライドさせてください。正しい極性で、単4乾電池2本 (1.5V) を入れます。電池カバーを元の位置までスライドさせてください。







製品の概要

前面パネル&トップパネル



1. タッチ画面

- 上下にスワイプすると、メイン画面が切り替わります。
- アイコンをタップして選択してください。
- ←をタップすると前の画面に戻り、→をタップすると次の画面に進みます。

	Wi-Fi信号インジケータ。
	タップしてソースを選択します (TV/HDMI IN/Bluetooth)。
	タップしてオーディオ設定をカスタマイズします。
	タップして全般設定をカスタマイズします。
	タップしてスピーカー設定をカスタマイズします。
	タップしてこの製品のシステム情報をチェックします。

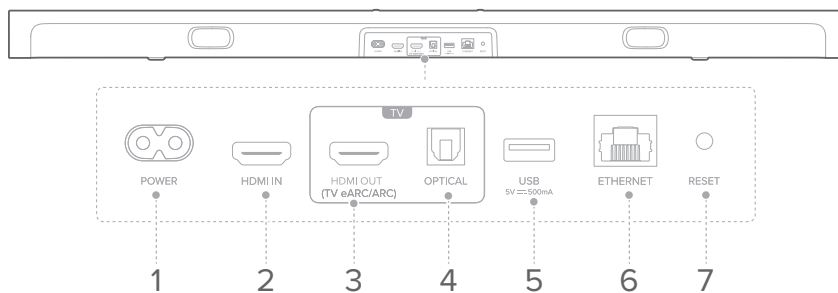
2. +/- (音量)

- 押して音量を増減させます。
- サウンドバーのオーディオをミュート状態にするには、両方を同時に押します。

3. LEDインジケータ

TV	○ ● ● ●	3秒間白色で点灯	TVソースを選択
HDMI	● ● ○ ●	3秒間白色で点灯	HDMIソースを選択
Bluetooth	● ● ● ● ●	青色で素早く点滅	Bluetoothペアリング
	● ● ● ● ●	青色で点灯	Bluetooth接続
	● ● ● ● ●	青色でゆっくり点滅	Bluetoothに未接続
低音/高音の調節	○ ● ● ● ●	白色で点灯	-2
	● ○ ● ● ●		-1
	● ○ ○ ● ●		0
	● ● ○ ● ●		+1
	● ● ● ○ ●		+2
ATMOS	○ ○ ○ ○	白色で点灯	レベル3
	● ○ ○ ●	半分が点灯	レベル2 (初期設定)
	● ● ● ●	低輝度	レベル1
サラウンド	○ ○ ○ ○	白色で点灯	レベル3
	● ○ ○ ●	半分が点灯	レベル2 (初期設定)
	● ● ● ●	低輝度	レベル1
	● ● ● ●	消灯	レベル0
調整	○=○=○=○	白色でスクロール	調整を実行中
	○ ○ ○ ○	3秒間白色で点灯	調整が完了
	○ ○ ○ ○	白色でゆっくり点滅	調整に失敗

背面パネル



1. POWER

- 電源ケーブルに接続します。

2. HDMI IN

- デジタルデバイスのHDMI出力に接続します。

3. HDMI OUT (TV eARC/ARC)

- TVのHDMI (eARC/ARC) 入力に接続します。

4. OPTICAL

- TVまたはデジタルデバイスに光オーディオ出力端子を接続します。

5. USB

- ソフトウェアアップデート用USB端子。

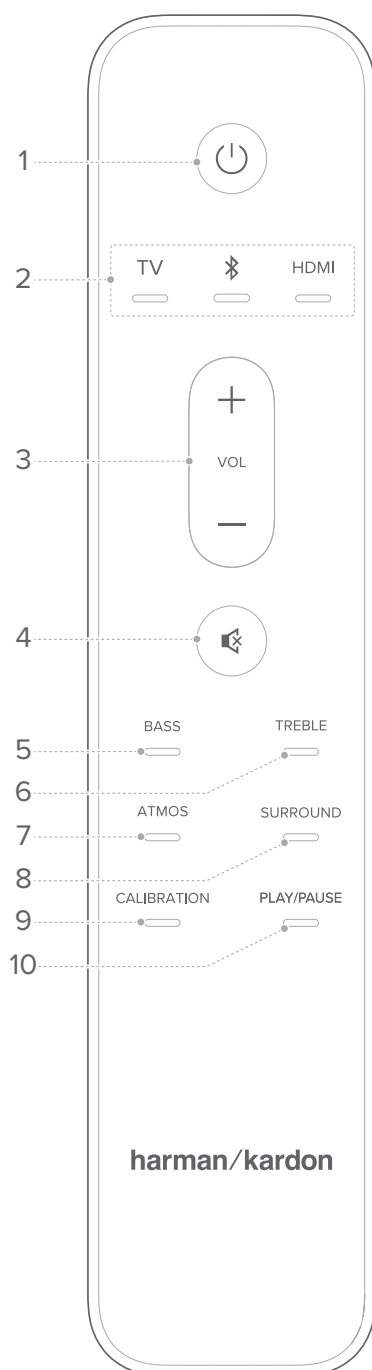
6. ETHERNET

- Ethernetケーブルを通してホームネットワークに接続します。

7. RESET

- 5秒間長押しすると、工場出荷時の設定に復元されます。

リモコン



1. 電源

- 電源をオンにするか、スタンバイモードに切り替えます。

2. ソース

- サウンドバー用の入力ソースを選択します：**TV/Bluetooth/HDMI**。
- ※**を長押しすると、新しいデバイスとペアリングします。

3. VOL +/-

- 音量を増減します。

4. 静音

- サウンドバーオーディオをミュート、またはミュート解除します。

5. BASS

- サウンドバーまたはサブウーファアの低音レベルを調節します（接続されている場合）。

6. TREBLE

- サウンドバーの高音レベルを調節します。

7. ATMOS

- ドルビーアトモス (Dolby Atmos) エフェクトのレベルを選択します：1、2（初期設定）または3。

8. SURROUND

- サウンドバーのみ：スマートサラウンドを有効または無効にします（「[スマートサラウンド](#)」をお読みください）。
- 別売のCitation Surroundでは以下のことができます：リアサラウンドスピーカのレベルを調節する

9. CALIBRATION

- 2回押すと、自分用のリスニング環境向けの3Dサラウンドサウンド設定を最適化します。

10. PLAY/PAUSE

- BluetoothまたはWi-Fiミュージック再生を一時停止、または再開します。
- 2回押すと、次のトラックへスキップします。
- 3回押すと、前のトラックへ戻ります。

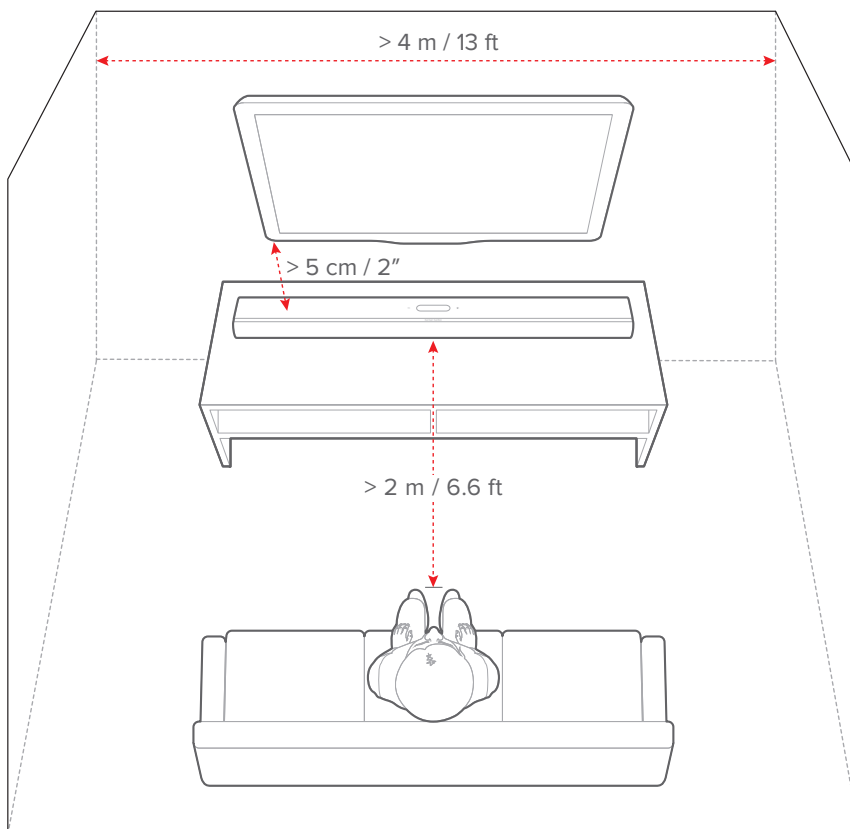
注：

- Wi-Fi音楽サービスが再生/一時停止の操作に対応していない場合もあります。

設置

台への設置

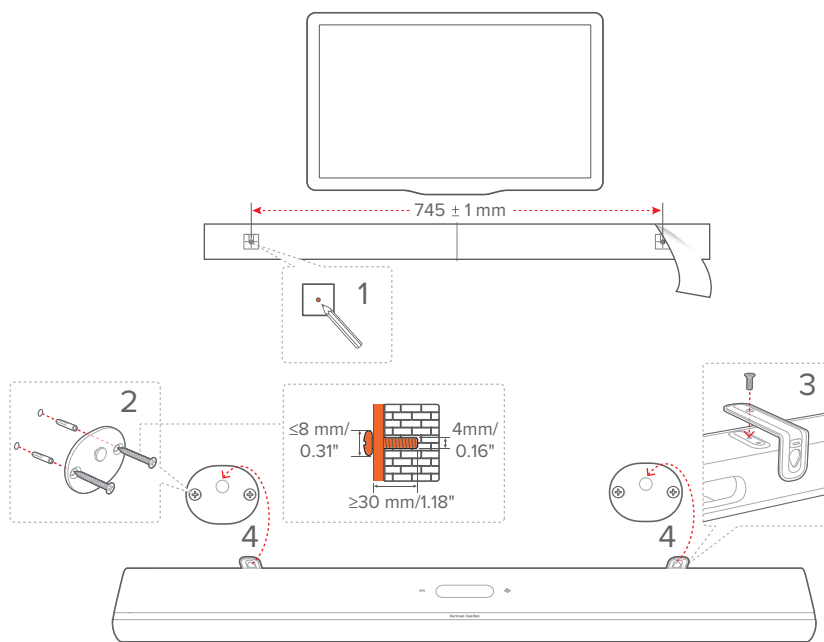
サウンドバーは水平で安定した台の上に設置してください。



注:

- 電源ケーブルを正しく電源に接続してください。
- サウンドバーの天面には何も置かないでください。

壁に取り付ける



- 1) 準備:
 - a) テレビから最低5cm離して、付属の壁取付け用型紙をテープで壁に貼り付けてください。
 - b) ペンなどでねじ穴の位置に印を付けてください。その後、型紙を取り外してください。
 - c) 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。
- 2) 壁に取り付け金具の受けねじを取り付けます。
- 3) 金具をサウンドバーの底部にねじで固定します。
- 4) サウンドバーを壁に取り付けます。

注：

- 事前に壁がサウンドバーの重量に耐えられることを確認してください。
- 垂直の壁以外には取り付けないでください。
- 高温、または高湿度状態で設置しないでください。
- 壁に取り付ける前に、サウンドバーと外部デバイス間のケーブルが全て正しく接続されていることをご確認ください。
- 壁への取り付け前に、サウンドバーの電源が入っていないことをご確認ください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。

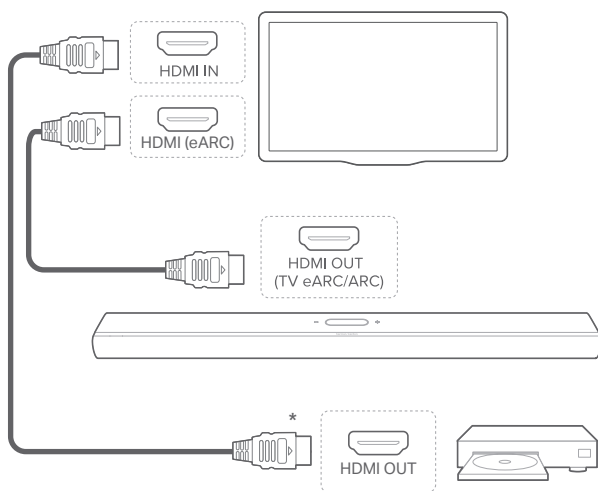
接続

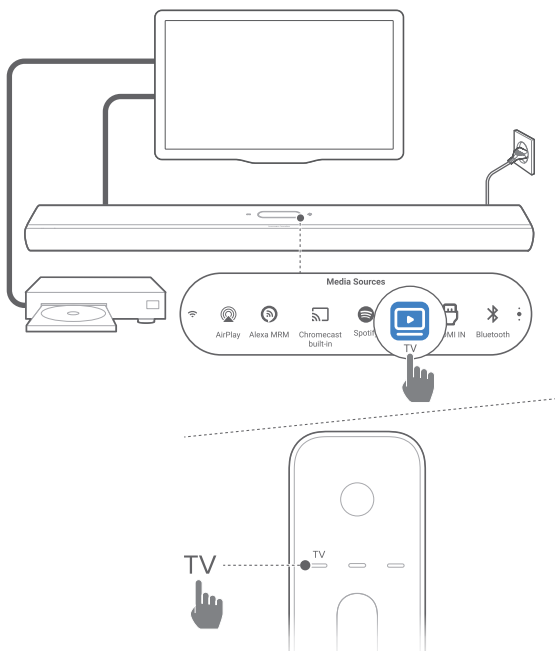
TVおよびデジタルデバイスとの接続

サウンドバーでオーディオ再生を行うには、付属のHDMIケーブル、または光デジタルケーブル（別売）を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

HDMI接続は、ケーブル1本の接続によりオーディオと動画の両方を出力できます。このサウンドバーの接続にはHDMIを推奨します。

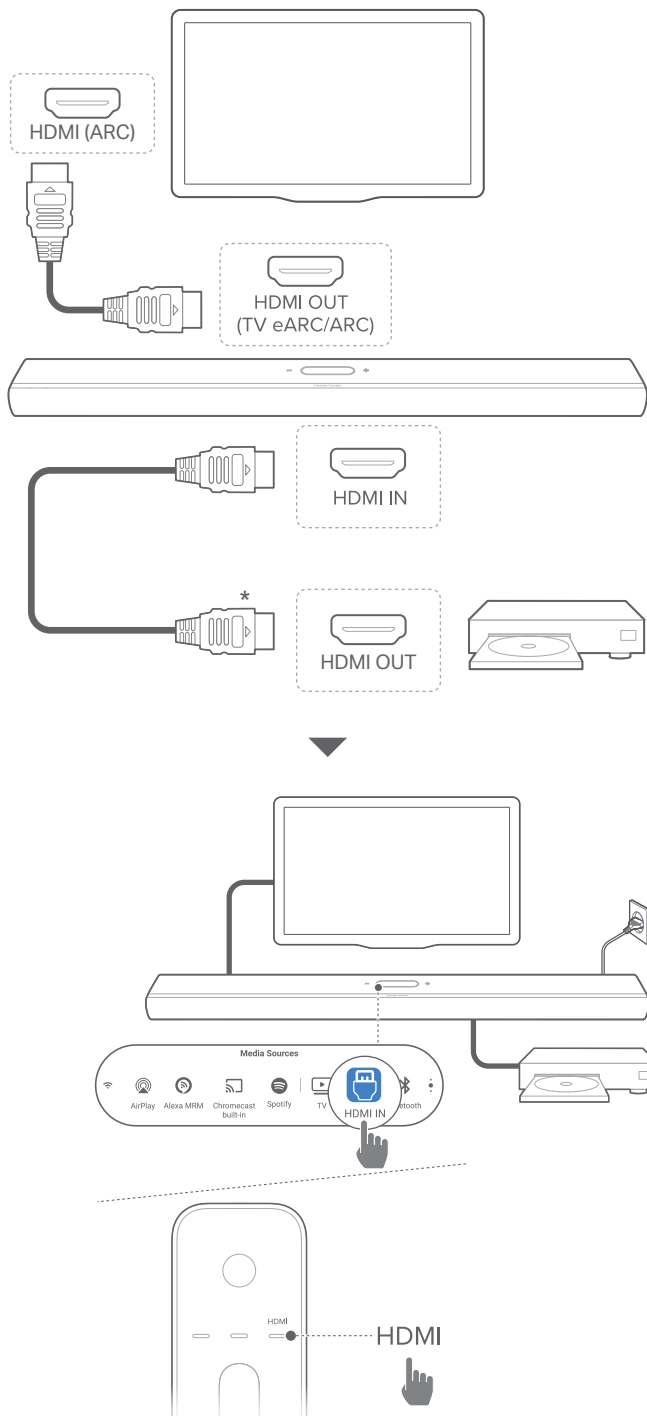
HDMI eARC





- 1) 付属のHDMIケーブルを使って、TVのHDMI IN (eARC) 端子と端子サウンドバーを接続してください。
 - TVがHDMI-CECとHDMI eARCに対応しているかどうかをチェックしてください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
- 2) HDMIケーブル (eARCに対応、V2.0以降) を使用して、ストリーミングデバイス、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタルデバイスとTVを接続してください。
 - デジタルデバイスがHDMI-CECに対応していることをチェックしてください。詳細については各デジタルデバイスの取扱説明書をご参照ください。
 - TVとデジタルデバイスで、ドルビーアトモスを最大限に満喫するためオーディオ出力設定の「ビットストリーム」または「オリジナルデータ」を選択してください。
- 3) TVに接続されたデジタルデバイスからオーディオを再生するには、サウンドバーの電源を入れて（「[電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ](#)」をお読みください）、TVソースを選択してください。

HDMI ARC

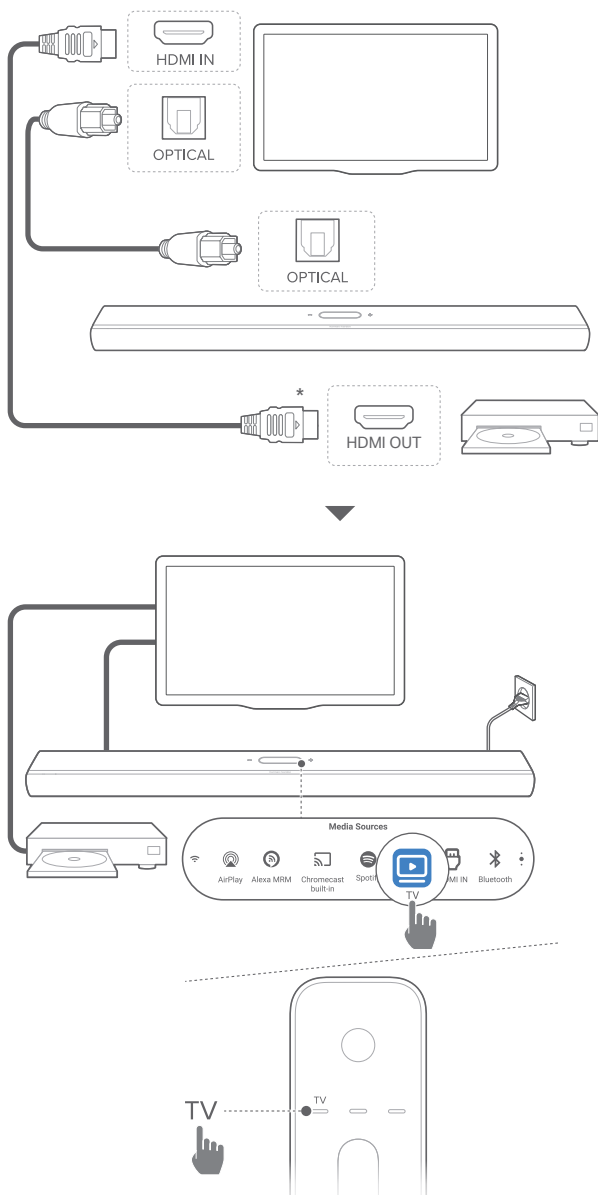


- 1) 付属のHDMIケーブルを使って、TVのHDMI IN (ARC)端子端子とサウンドバーを接続してください。
 - TVがHDMI-CECとHDMI ARCに対応しているかどうかをチェックしてください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
- 2) HDMIケーブル (V2.0以降) 1本で、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタルデバイスとサウンドバーを接続してください。
 - デジタルデバイスがHDMI-CECに対応していることをチェックしてください。詳細については各デジタルデバイスの取扱説明書をご参照ください。
 - デジタルデバイスで、ドルビーアトモスを最大限に満喫するためオーディオ出力設定の「ビットストリーム」または「元データ」を選択してください。
- 3) サウンドバーに接続されたデジタルデバイスからオーディオを再生するには、サウンドバーの電源を入れて（[「電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」](#)をお読みください）、**HDMIソース**を選択してください。

注：

- TVがHDMI eARCに対応していない場合、TVの代わりにサウンドバーのHDMI IN端子を通してデジタルデバイスに接続していることをご確認ください。そのように接続しないと、ドルビーアトモスの信号をHDMI (ARC/eARC) 端子を経由してサウンドバーに送ることができません。

光デジタル端子



注：

- ドルビーアトモスにより、このサウンドバーの Dolbyサラウンドアップミキサーは5.1および7.1コンテンツを含むDolby Digitalフォーマットのレガシーチャンネルベースのオーディオを拡張することができ、臨場感のある3D Atmos体験を実現します。

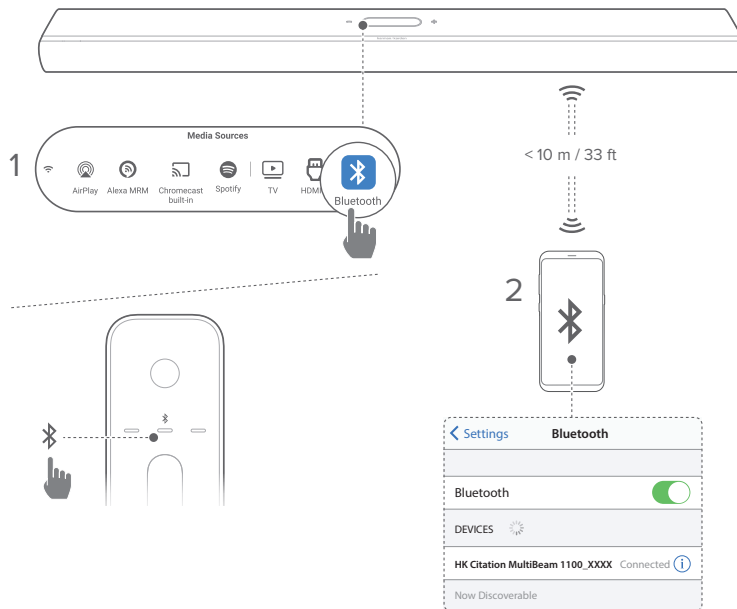
- 1) 光デジタルケーブルを使って、サウンドバーをTVに接続してください。
- 2) HDMIケーブル (V2.0以降) を使用して、ストリーミングデバイス、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタルデバイスとTVを接続してください。
- 3) 光デジタルケーブルを通してオーディオを再生するには、サウンドバーの電源を入れて（「[電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ](#)」をお読みください）、**TV**ソースを選択してください。

注：



- デジタルデバイスの接続用のHDMIケーブルおよび光デジタルケーブルは別売です。
- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。
- HDMI eARC/ARCと光デジタルケーブルのどちらでも、TV接続からオーディオ入力用にサウンドバーに接続できる場合は、HDMI eARC/ARC接続が優先されます。

Bluetooth接続

Bluetoothで、スマートフォン、タブレット、ノートPCといったBluetooth対応デバイスにサウンドバーを接続してください。



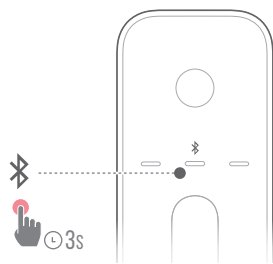
Bluetooth対応デバイスへの接続

- 1) サウンドバーの電源を入れてください（「[電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ](#)」をお読みください）。
- 2) Bluetoothソースを選択するには、タッチ画面のをタップするか、またはリモコンのを押してください。
→ 2つ目のLEDが青色で素早く点滅します。
- 3) Bluetooth対応デバイスの方では、Bluetoothが有効になり、3分以内に **HK Citation MultiBeam 1100_XXXX** の検索を開始します。
→ 正常に接続されました：2番目のLEDが青色で点灯し、確認音が鳴ります。

最後にペアリングしたデバイスを再接続するには

本機はスタンバイモード時もペアリングしたBluetooth対応デバイスを記憶しています。次回にBluetoothソースに切り換えた際、サウンドバーが自動的に最後にペアリングしたデバイスとの再接続を行います。

別のBluetooth対応デバイスに接続するには



- 1) Bluetoothソースで、2番目のLEDが青色で素早く点滅するまでタッチ画面またはリモコンのBluetoothシンボルを長押しします。
 - 以前にペアリングされていたデバイスはサウンドバーから消去されます。
 - サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。
- 2) 「[Bluetooth対応デバイスへの接続](#)」のステップ3に従ってください。
 - デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合は、まずデバイスの **HK Citation MultiBeam 1100_XXXX** のペアリングを解除してください。

注：

- Bluetooth接続は、サウンドバーとBluetooth対応デバイスの距離が10mを超えている場合、接続が切れてしまいます。
- 周辺に電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLAN機器などの電磁波を出すデバイスはサウンドバーから離してお使いください。

ホームネットワークとの接続

Wi-Fi、またはEthernetケーブルを通してサウンドバーをホームネットワークに接続してください。Chromecast built-in™、AirPlay、Alexaマルチルームミュージックに対応しているため、このサウンドバーはサウンドバースピーカーを通して、スマートホンまたはタブレットからオーディオをストリーミングすることができます。

- 1) サウンドバーでWi-Fi設定モードに入ってください：
 - サウンドバーの電源を入れてください（「[電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ](#)」をお読みください）。
 - サウンドバーがネットワークに接続されていない場合は、起動および言語の選択後、画面に**Setup Wi-Fi Music (Wi-Fiミュージックの設定)**と表示されます。
 - ネットワーク設定をリセットするには、**System Info (システム情報) -> Network (ネットワーク) -> Reset (リセット)**をタップして、リセット操作を確定してください。
- 2) AndroidまたはiOSデバイスで、サウンドバーをWi-Fiホームネットワークに追加してください。
アプリを選択してWi-Fi設定を完了してください。



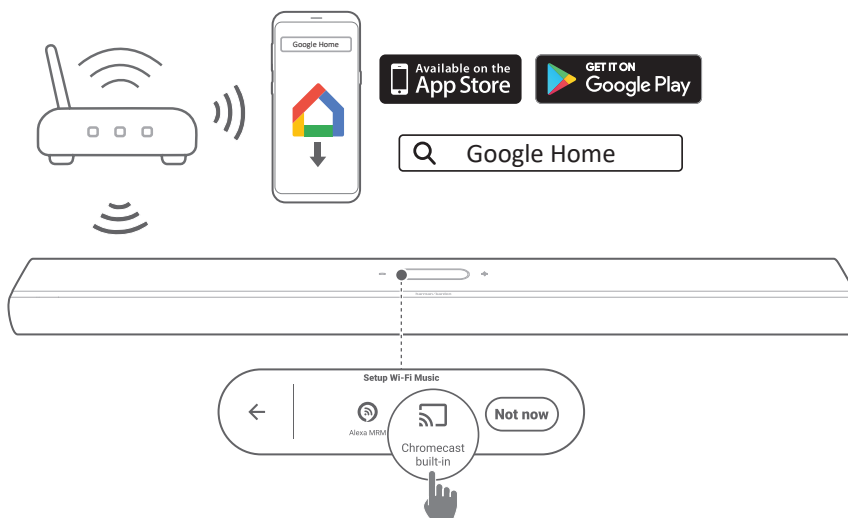
- **Google Homeアプリ**：Chromecast built-in™およびAirPlayを通じた再生用
- **AirPlayスピーカーの設定**：AirPlayでの再生用のみ

- **Amazon Echoデバイス/Amazon Alexaアプリ**: Amazonミュージック、Alexaマルチルームミュージック (MRM) およびAirPlayを通じた再生用

注:

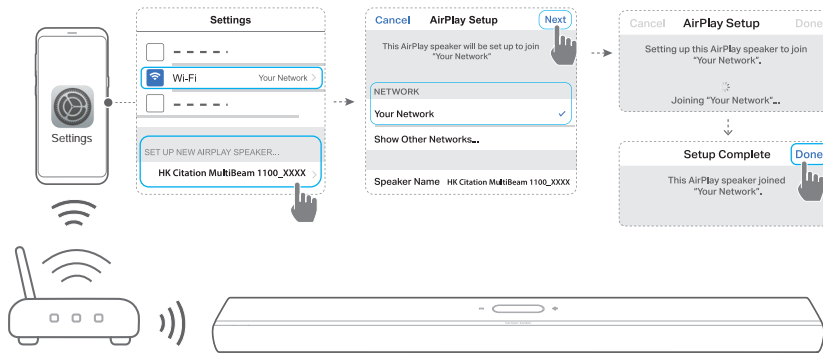
- **Apple AirPlay**はホームネットワーク設定後に利用可能です (iOSデバイスのみ)。
- 特定の機能を使用するには、一部の国では利用できない定額利用契約、またはサービスが必要です。

Google Homeアプリを通じたWi-Fi設定



- 1) AndroidまたはiOSデバイスをWi-Fiホームネットワークに接続してください。Google Homeアプリをダウンロードします。お持ちのGoogleアカウントでサインインしてください。アカウントをお持ちでない場合は、新規でアカウントを作成します。
- 2) アプリの指示に従って設定を完了してください。

AirPlayスピーカー設定を通したWi-Fi設定

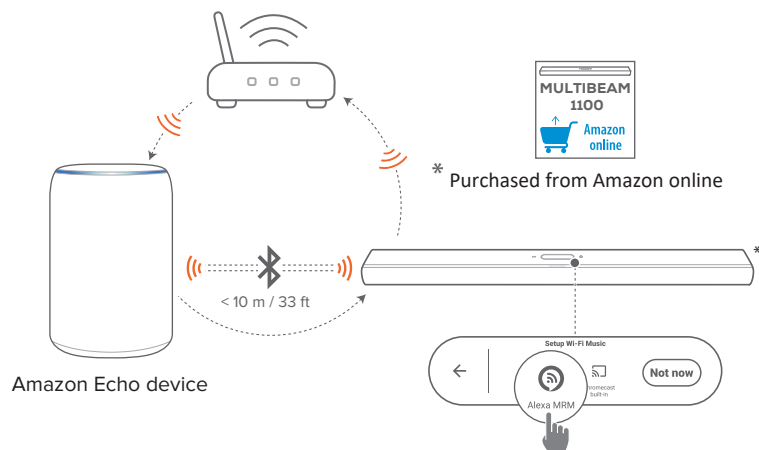


- 1) iOSデバイスをWi-Fiホームネットワークに接続してください。
- 2) iOSデバイスで、**Settings (設定)** ->**Wi-Fi**へアクセスしてください。**SET UP NEW AIRPLAY SPEAKER... (新しいAIRPLAYスピーカーの設定...)** で、**HK Citation MultiBeam 1100_XXXX** を選択して画面上の指示に従い、設定を完了してください。

Amazon Echoデバイスを通した自動設定

サウンドバーをAmazon Echoデバイスと同一のWi-Fiネットワークに接続するには、以下の点をご確認ください：

AmazonアカウントでAmazonオンラインからサウンドバーを購入した。



- 1) Wi-FiホームネットワークにAmazon Echoデバイスを接続したことをチェックした。
- 2) Amazon EchoデバイスのWi-Fi設定中に、Wi-FiホームネットワークのパスワードをAmazonに保存した。

Enter your Wi-Fi network

Wi-Fi Network Name
Your Network

Enter your password
Your Password

Save password to Amazon and allow eligible devices to use this password during setup. [Learn more](#)

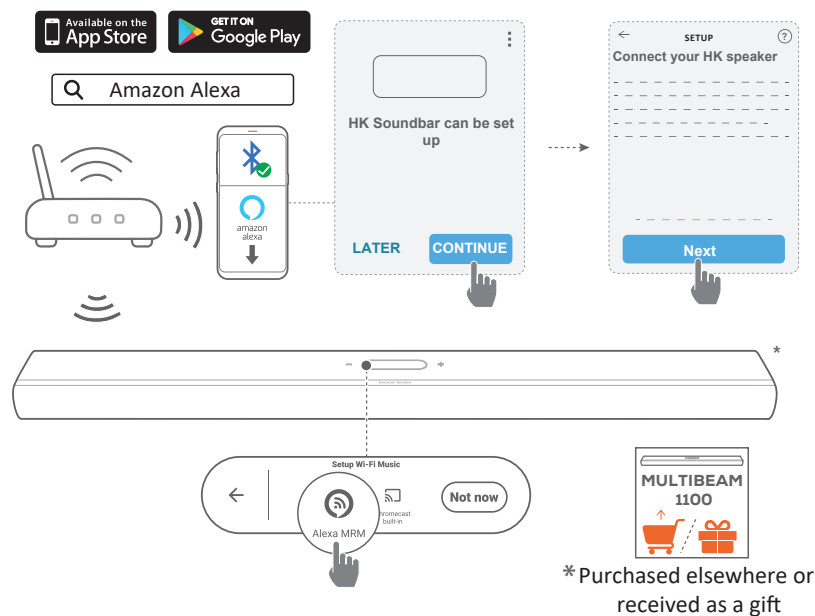
CONNECT

- 3) Amazon Echoデバイス上でBluetoothを有効にして、Bluetoothの有効範囲 (10 m) 内にサウンドバーを設置した。

Amazon Alexaアプリを通したWi-Fi設定

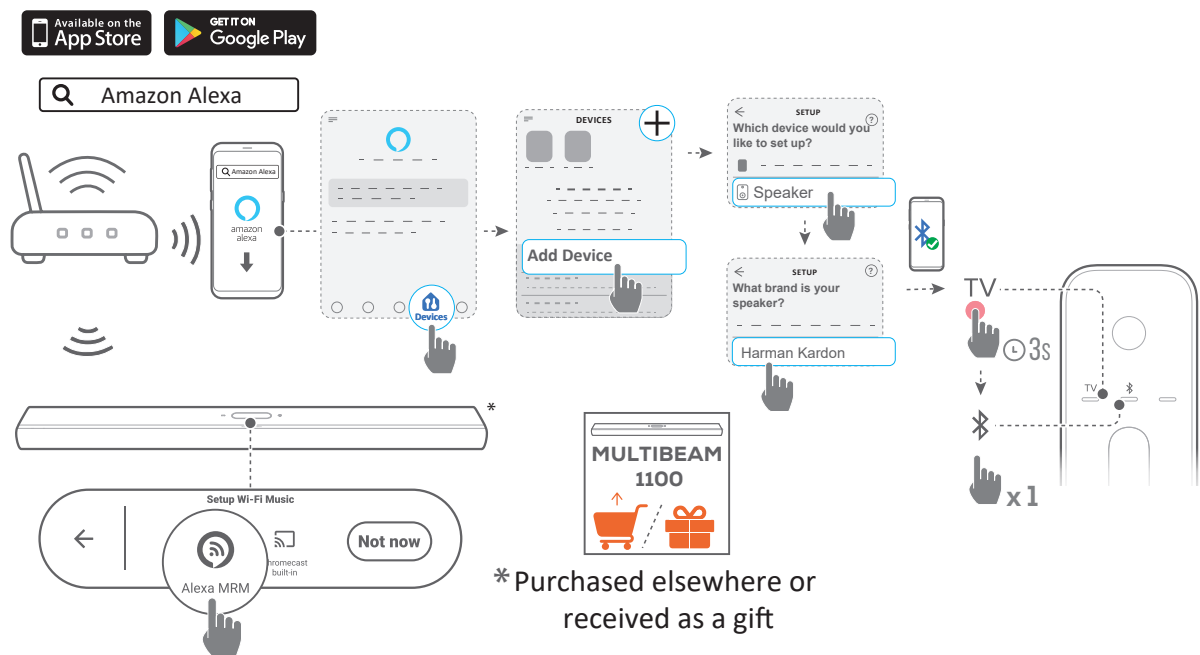
サウンドバーを他の店で購入した、またはプレゼントとして受け取った場合は、Amazon AlexaアプリでWi-Fi設定を行ってください。Alexaはサウンドバーが自動的に、またはガイド付き設定で見つけることができます。

自動的に見つける



- 1) AndroidまたはiOSデバイスをWi-Fiホームネットワークに接続してください。Amazon Alexaアプリをダウンロードしてください。お持ちのAmazonアカウントでサインインしてください。アカウントをお持ちでない場合は、新規でアカウントを作成します。
- 2) AndroidまたはiOSデバイスで、Bluetoothを有効にしてAmazon Alexaアプリを起動してください。
→ サウンドバーはAlexaによって自動的に見つかります。
- 3) 上記のステップと画面上の指示に従って、サウンドバーをWi-Fiホームネットワークに接続してください。

手動：ガイド付き設定



- 1) AndroidまたはiOSデバイスをWi-Fiホームネットワークに接続してください。Amazon Alexaアプリをダウンロードしてください。お持ちのAmazonアカウントでサインインしてください。アカウントをお持ちでない場合は、新規でアカウントを作成します。
- 2) AndroidまたはiOSデバイスで、Amazon Alexaアプリを起動して上記のステップに従ってください。
- 3) ガイド付き設定を行うには、AndroidまたはiOSデバイスでBluetoothを有効にして、TVボタンを3秒以上押し、次にリモコンのBluetoothボタンを押すと、Alexaがサウンドバーを見つけます。
- 4) 画面上の指示に従って、サウンドバーをWi-Fiホームネットワークに接続してください。

Ethernetケーブルを通してホームネットワークに有線接続する（別売）

- Wi-Fi設定の完了後、Ethernetケーブルを使用してサウンドバーをホームネットワークに接続してください。
- 設定時と同一のネットワークに接続されていることをご確認ください。

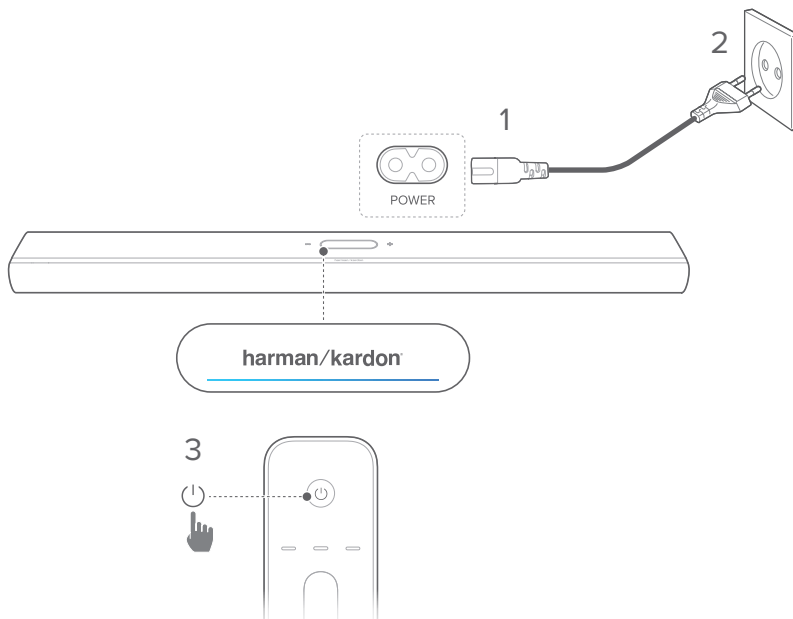
注：

- Google Homeアプリを通したWi-Fiの設定中に、サウンドバーに名前を付けて部屋ごとに整理することができます。
- iOSデバイスで、Apple Homeアプリにサウンドバーを追加し、その他のAirPlay対応スピーカーと一緒に管理することができます。
- iOSデバイス上で、Google Homeアプリを通してサウンドバーがWi-Fiホームネットワークに追加されている場合、「[AirPlayスピーカー設定を通したWi-Fi設定](#)」のステップを飛ばしてAirPlay対応アプリからAirPlayのストリーミングを開始することができます（「[AirPlayを通した再生](#)」をお読みください）。
- サウンドバーがGoogleホームアプリ、またはAirPlayスピーカー設定を通してWi-Fiホームネットワークに追加されている場合は、画面上の指示に従ってAmazonアカウントにサインインしてください。
- オンラインの音楽ストリーミングサービスが利用できるかどうかは国によって異なります。

設定

電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ

- 1) AC電源ケーブルをサウンドバー背面の**POWER**端子に差し込んでください。
- 2) 電源ケーブルのもう片方の端を電気が通っているAC（電源）コンセントに挿し込みます。サウンドバーの電源が自動的に入り、タッチ画面もオンになります。
- 3) あるいは、リモコンの ⏻ を押して、電源をオンにするか、スタンバイモードに切り替えてください。



- 4) 画面上の指示に従って初期設定を完了してください。

注：

- 付属の電源ケーブル以外は使用しないでください。
- 電源ケーブルを接続する前に、他の接続全てが完了していることをご確認ください。
- 電源ケーブルの接続を外す場合は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にケーブルを引っ張らないでください。
- 機器間の全ての接続が完了するまで、ACコンセントにこの製品または他の機器を接続しないでください。

オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り替わります。次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択されたソースに戻ります。

オートウェイクアップ

サウンドバーは下記の場合に自動的にスタンバイモードから復帰します

- サウンドバーがHDMI ARC/eARCでテレビと接続されている場合は、TVの電源が入った時。
- サウンドバーが光デジタルケーブルでTVと接続されている場合は、光デジタルケーブルからのオーディオ信号を検知した時。
- サウンドバーがHDMI ARC/eARC接続でテレビに接続されていれば、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤー、ゲーム機のようなデジタルデバイスにも接続できます。また、デジタルデバイスの電源が入ると、
- サウンドバーがホームネットワークに接続され、Chromecast built-in、AirPlayまたはAlexaミュージックでサウンドバーにオーディオがストリーミングされます。

サウンドエフェクト

サウンドの調整

自分用のリスニング環境に合わせて、3Dサラウンドサウンドの体感を最適化することができます。

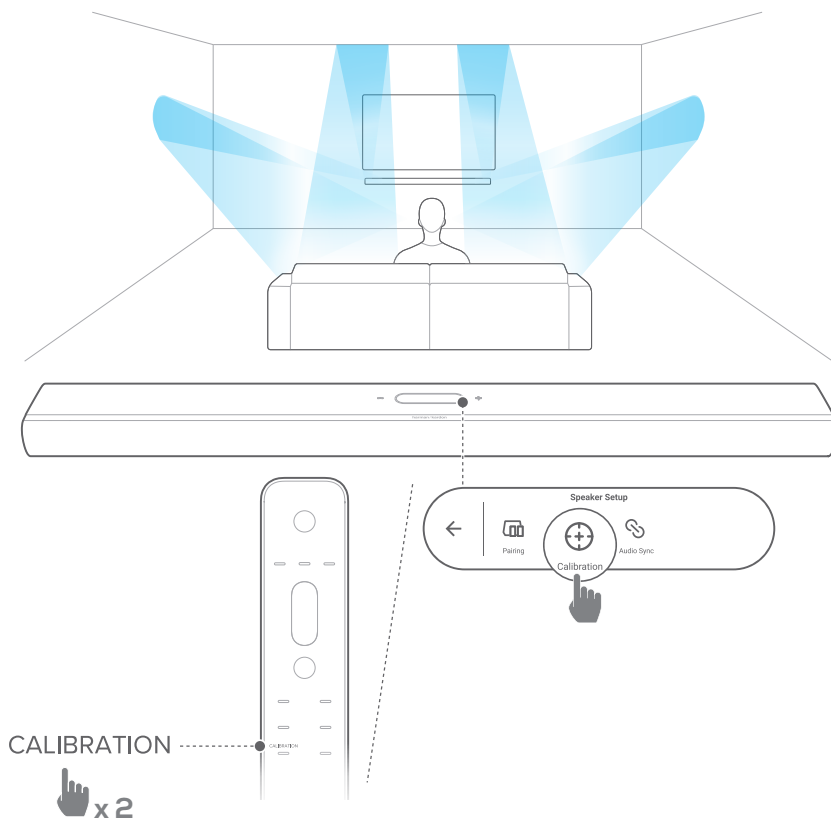
- リモコンで**CALIBRATION**を2回押すか、タッチ画面で**Speaker Setup (スピーカー設定) -> Calibration (調整)**をタップします。

サウンドを調整するには、以下の点を確認します：

- 部屋が静かであることをご確認ください。
- サウンドバーの前面または側面から障害物をどけてください。

CITATION SURROUND (別売) でサウンドを調整するには、以下の点を確認します：

- サウンドバーと2台のリアスピーカーの間に障害物がなく、互いに完全に見える状態であることをご確認ください。
- 左右のリアスピーカーがリスニング位置の背後に正しく設置されていることをご確認ください。



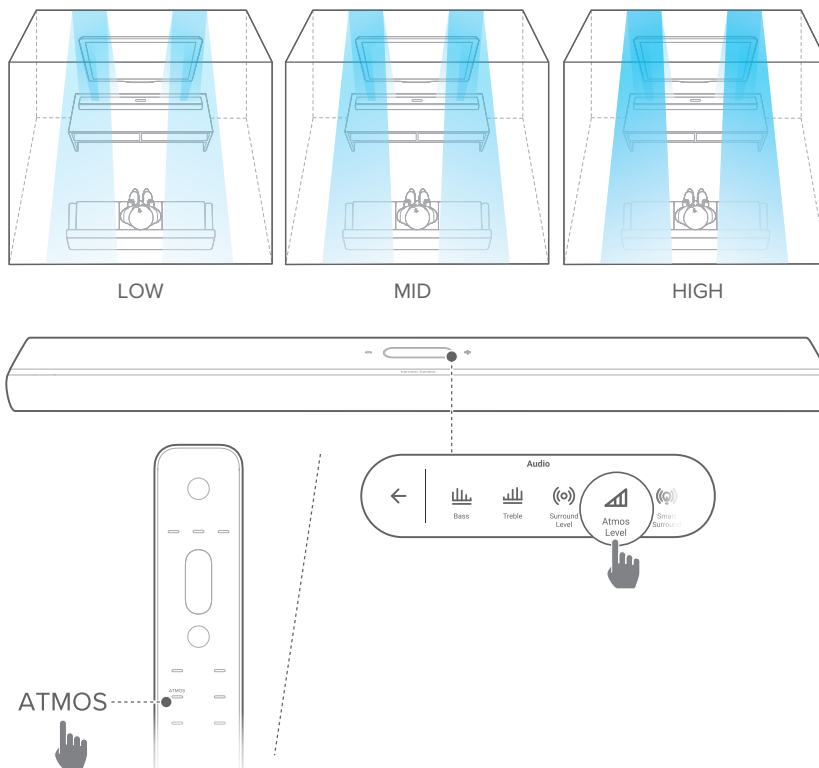
注：

- 調整に失敗した場合は、LCDディスプレイにはキャンセルまたは再試行と表示されます。
- 調整中、 \odot 以外のリモコンのボタンは全て無効になります。

Dolby Atmos®

TV/HDMI INソースで映画を再生する場合は、ドルビーアトモスを搭載したハイレベルのサウンドエフェクトをお楽しみください。

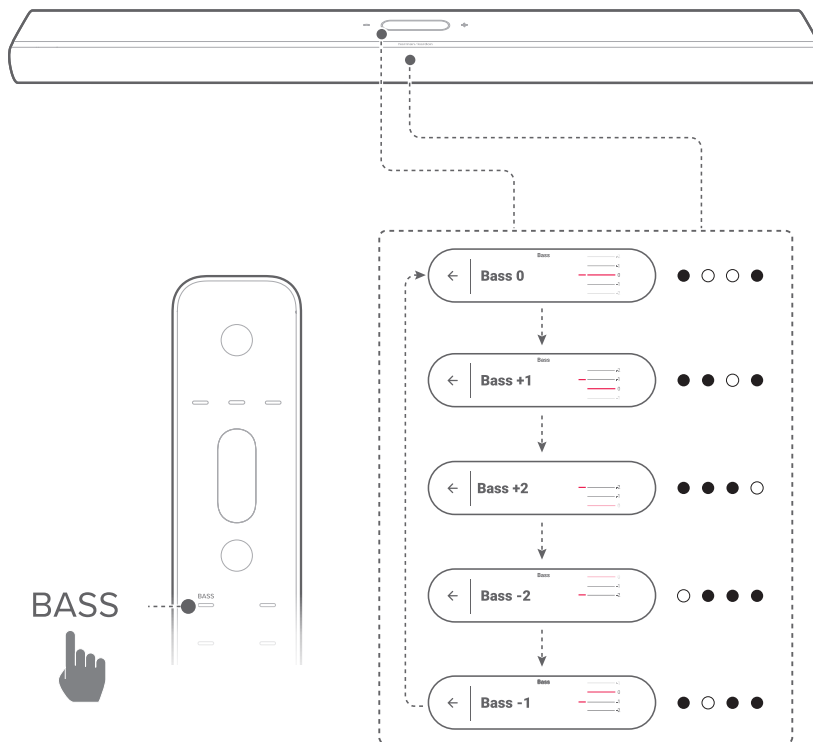
- 1) HDMI ARC/HDMI eARC端子およびHDMI端子を通してBlu-rayプレーヤーまたはストリーミングデバイスを接続・再生してください。（「[TVおよびデジタルデバイスとの接続](#)」をお読みください）。
- 2) リモコンの**ATMOS**ボタンを押すか、タッチ画面上で**Audio (オーディオ) -> Atmos (アトモス)** をタップし、上または下にスワイプしてAtmosレベルを選択してください: 1、2 (初期設定) または3。



低音の調節

サウンドバーまたはサブウーファーの低音レベルを調節することができます (接続されている場合) : 低音-2、低音-1、低音0、低音+1、または低音+2

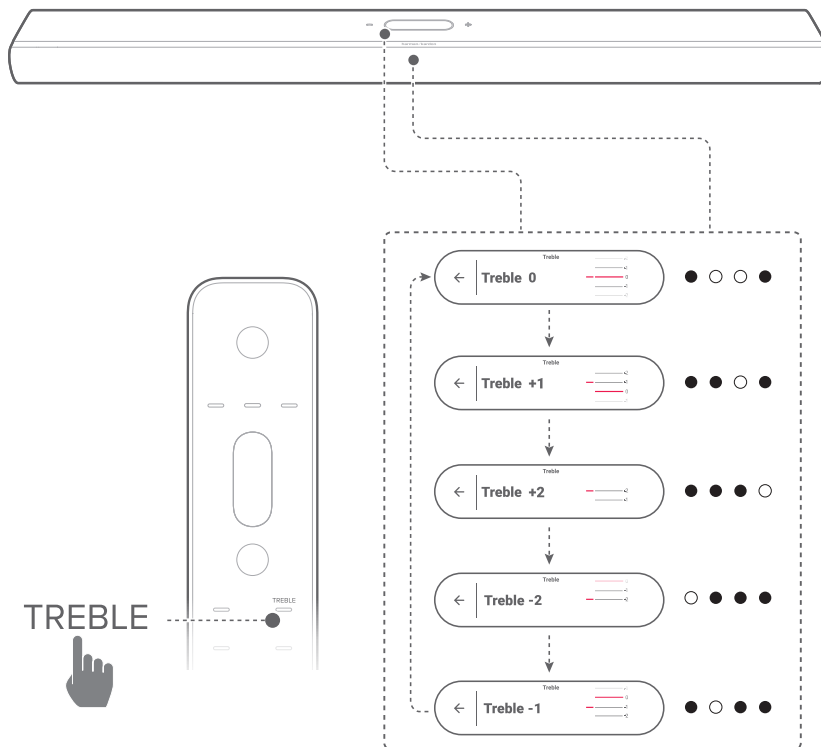
- リモコンの**BASS**ボタンを押すか、タッチ画面上で **Audio (オーディオ) -> Bass (低音)** をタップし、上または下にスワイプして低音レベルを調節してください。



高音の調節

サウンドバーの高音レベルを調節することができます：高音-2、高音-1、高音0、高音+1、または高音+2

- リモコンの**TREBLE**ボタンを押すか、タッチ画面上で**Audio (オーディオ) -> Treble (高音)**をタップし、上または下にスワイプして高音レベルを調節してください。



/ その他のCITATIONスピー カーの設定（別売）


お持ちのCitation MultiBeam 1100は次のデバイスとワイヤレスでペアリングできます：

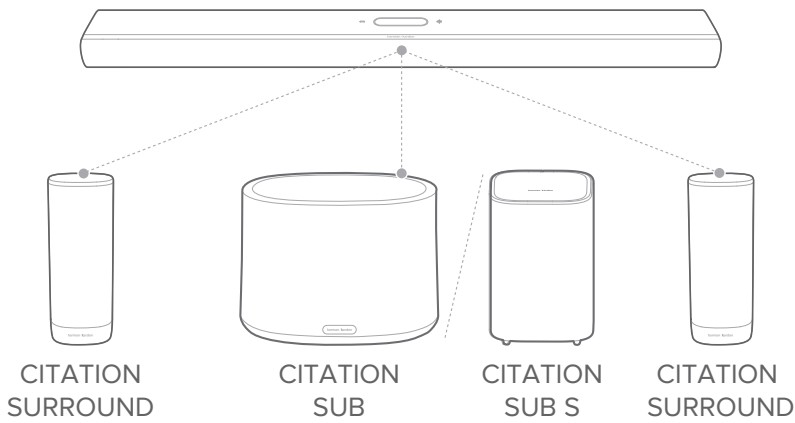
- CITATION SUB (S) (サブウーファー、別売)：低音のパフォーマンスを向上させる。
- CITATION SURROUND (サテライトスピーカー、別売)：サラウンドサウンドの体感を向上させる。
- CITATION SUB (S)およびCITATION SURROUND：5.1.2チャンネルサラウンドサウンドシステムを設定する

注：

- 正しく設定するには、Citation MultiBeam 1100とお持ちのCITATION SUB (S)またはCITATION SURROUNDとの距離を最大で5mにしてください。
- サウンドバーの電源がオフの場合、サテライトスピーカーまたはサブウーファーはスタンバイモードに入ります。
- お持ちのサウンドバーの近くにあるサウンドバーと同一の周波数（2.4GHzまたは5GHz）を使うデバイスを使用する場合、干渉が音途切れの原因になることがあります。
- サウンドバーとサテライトスピーカー、またはサブウーファー間のワイヤレス信号の最大伝達距離は操作環境に応じて異なることがあります。

- 1) Citation MultiBeam 1100、CITATION SUB (S)または/およびCITATION SURROUNDの電源を入れてください。
- 2) CITATION SUB (S)または/およびCITATION SURROUNDでは、**RESET (リセット)** を押してペアリングモードに入ってください。
- 3) Citation MultiBeam 1100では、タッチ画面の**Speaker Setup (スピーカーの設定) -> Pairing (ペアリング)** をタップしてペアリングモードに入ってください。
 - サウンドバーがCITATION SUBまたは/およびCITATION SURROUNDの検索を開始します。
 - いったん正しく接続されると、ペアリング音が聞こえ、**Surround setup successful (サラウンドの設定に成功)** または**Subwoofer connected (サブウーファーを接続済み)** がタッチ画面上に表示されます。
 - スピーカーが見つからない場合は、各スピーカーの電源が入っていることを確認し、もう一度設定してください。

- 4) 設定を解除するには、をタップし、表示された確認ボックスで操作を確定させてください。



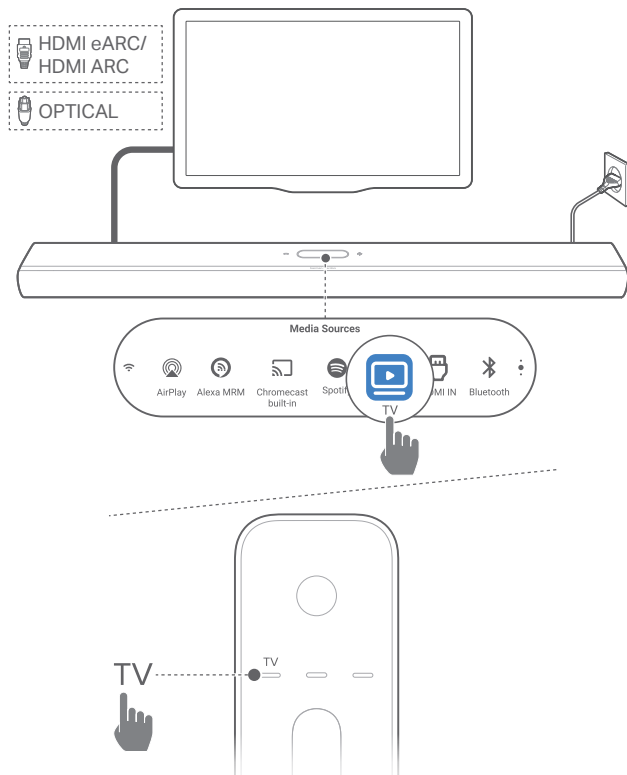
LEDインジケータ (CITATION SUB (S)/CITATION SURROUND)

	白色(点滅)	ペアリング
	白色(点滅)	電波の届かない場所にありま す/ ワイヤレス接続が切れていま す
	白色 (10秒間点灯して、 その後消灯)	Citation MultiBeam 1100とワイヤ レスで接続済み

/ 再生

TVソースからの再生

図のようにサウンドバーを接続して、サウンドバーでTVのオーディオを楽しむことができます。



- 1) テレビが外部スピーカーに対応するように設定されていて、テレビに内蔵されているスピーカーがミュート状態になっていることをご確認ください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
- 2) サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください（「[TVおよびデジタルデバイスとの接続](#)」をお読みください）。
- 3) TVソースを選択するには、リモコンの**TV**ボタンを押すか、タッチ画面の**TV**をタップしてください。

注：

- TVとサウンドバーがHDMIと光デジタルの両方のケーブルで接続されている場合は、HDMIケーブルでの接続が選択されます。

TVリモコンの設定

TVとサウンドバーの両方をTVリモコンで操作するには、TVがHDMI-CECに対応していることをチェックしてください。TVがHDMI-CECに対応していない場合は、[「TVリモコンのIRラーニング」](#)のステップに従ってください。

HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVリモコンで、サウンドバーの音量の+/-、ミュート/ミュート解除、電源オン/スタンバイ機能を操作することができます。

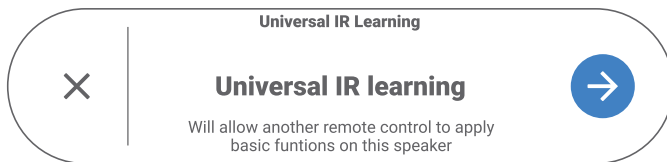
TVリモコンのIRラーニング

赤外線コマンド学習機能を使って、赤外線信号を使用しているTVのリモコンのいくつかの操作をサウンドバーに学習・対応させることができます。

- 1) タッチ画面で、**Settings (設定)** ページにスワイプして、次に**Options (オプション)** -> **Universal IR Learning (ユニバーサルIRラーニング)** をタップしてください。



- 2) →をタップして、TVリモコンのユニバーサルIRラーニングを開始してください。



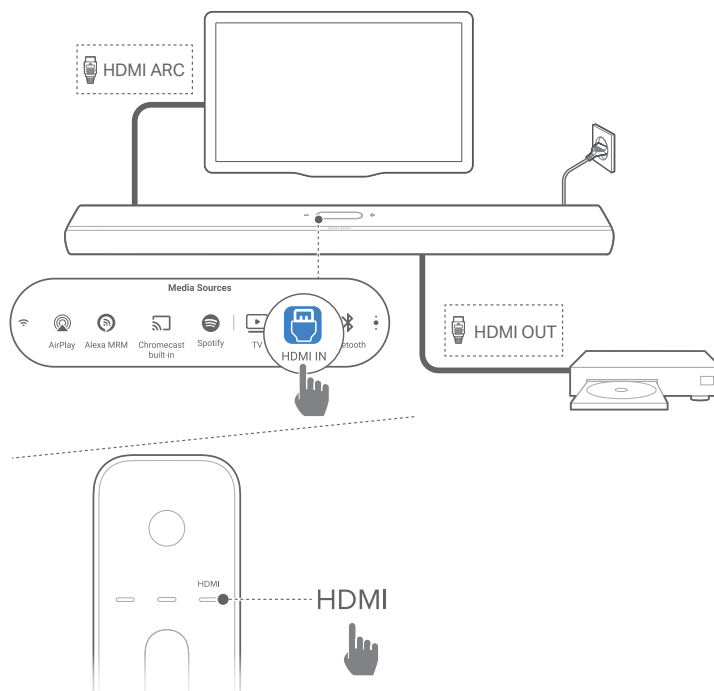
- 3) TVリモコンをサウンドバーに向けてください。画面の指示に従ってTVリモコンのボタンを操作してください。

注：

- TVリモコンの入力切替では、サウンドバーではなく、TVに直接接続されたデバイスしか使用することができません。

HDMI INソースからの再生

図のようにサウンドバーを接続すると、サウンドバーからのサウンド出力で、デジタルデバイスからの動画をTVで再生することができます。



- 1) サウンドバーがTVとデジタルデバイスに正しく接続されていることをご確認ください（「[TVおよびデジタルデバイスとの接続](#)」をお読みください）。
- 2) デジタルデバイスの電源を入れてください。
 - TVとサウンドバーがスタンバイモードから復帰し、自動的に入力ソースを切り替えます。
 - サウンドバーの**HDMI IN**ソースを選択するには、リモコンの**HDMI**ボタンを押すか、タッチ画面の**HDMI IN**をタップしてください。

- 3) TVがスタンバイモードに切り替わります。
 → サウンドバーとソースデバイスがスタンバイモードに切り替わります。

注：

- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。

Bluetoothソースからの再生

Bluetoothを通して、Bluetooth対応デバイスからサウンドバーに音楽をストリーミングすることができます。




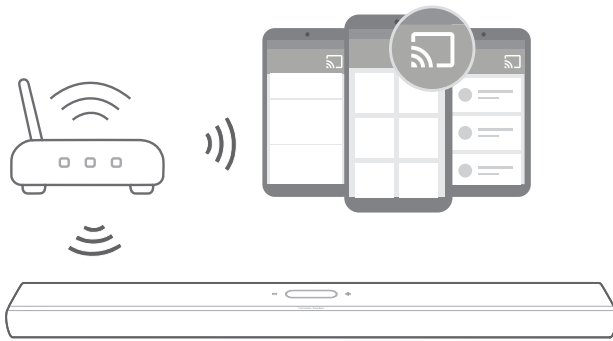
- 1) サウンドバーがBluetooth対応デバイスに正しく接続されていることをチェックしてください（「[Bluetooth接続](#)」をお読みください）。
- 2) Bluetoothソースを選択するには、リモコンの🎵ボタンを押すか、またはタッチ画面のBluetoothをタップしてください。
- 3) Bluetooth対応デバイスでオーディオ再生を開始します。
- 4) サウンドバーまたはBluetooth対応デバイスの音量を調節します。

Chromecast built-inを通した再生

Chromecast built-inを通して、AndroidまたはiOSデバイスからサウンドバーにオーディオをストリーミングします。

- 1) サウンドバー側
 - サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることをチェックしてください（「[ホームネットワークとの接続](#)」をお読みください）。


- 2) AndroidまたはiOSデバイス側
 - a) AndroidまたはiOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることをチェックしてください。
 - b) Chromecast対応アプリで音楽を再生し、キャストアイコンをタップし、接続されているサウンドバーを選択してください。

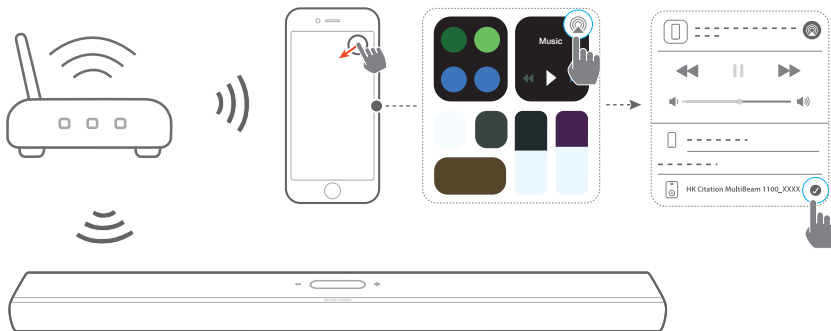


- 3) 音楽再生を終了するには、他のソースに切り換えてください。

AirPlayを通した再生

AirPlayを通して、iOSデバイスからサウンドバーにオーディオをストリーミングします。

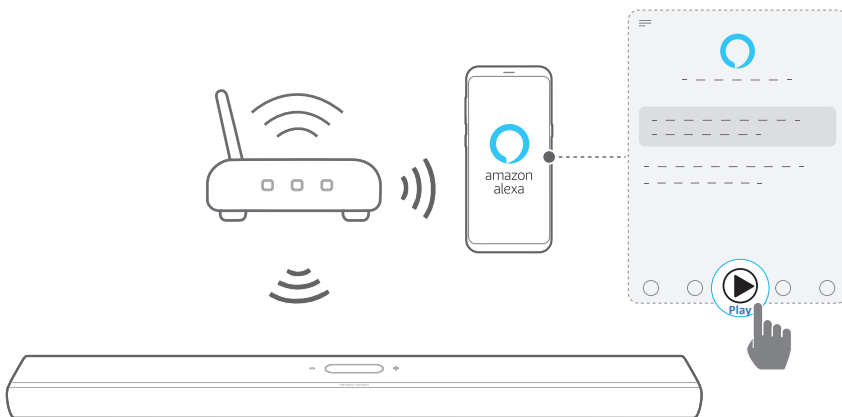
- 1) サウンドバー側
 - サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることをチェックしてください（「[ホームネットワークとの接続](#)」をお読みください）。
- 2) iOSデバイス側
 - a) iOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることをチェックしてください。
 - b) iOSデバイスのコントロールセンターに入るには、画面右上隅から下にスワイプするか、下の端から上にスワイプしてください（iOS11以前のバージョン）。をタップして接続されたサウンドバーを選択し、アプリからオーディオストリーミングを開始してください。



3) 音楽再生を終了するには、他のソースに切り換えてください。

Amazonミュージックを通した再生

サウンドバーをAlexaに接続すると、Amazonミュージックライブラリからサウンドバーに音楽をストリーミングすることができます。



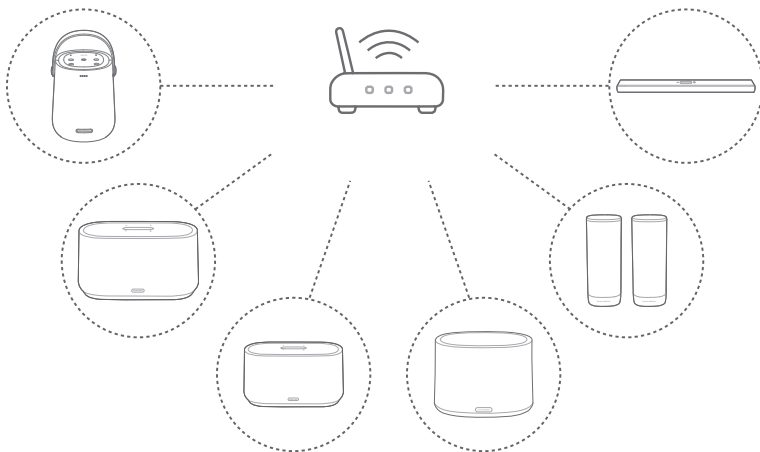
- 1) サウンドバーがAmazon Alexaアプリに正しく接続されていることをチェックしてください（「[Amazon Alexaアプリを通したWi-Fi設定](#)」をお読みください）。
- 2) Amazon Alexaアプリを起動して音楽再生を開始してください。
 - Amazon Musicアプリを開いてAmazonミュージックライブラリにアクセスしてください。
 - 詳細については、Amazon Alexaアプリをご参照ください。

注：

- サウンドバーは、オーディオストリーミングには対応していますが、動画のストリーミングには対応していません。
- Chromecast built-in、AirPlayまたはAlexaの再生中、2番目に接続したデバイスで音楽再生を開始すると、現在接続されているデバイスの音楽再生が一時停止します。
- AirPlayの使用中にサウンドバーでWi-Fiホームネットワークと有線ネットワークを切り換えると、ブロードバンドの帯域幅の状態に応じて音楽再生が一時停止し、数分で再開します。有線のホームネットワークに接続するには、「[Ethernetケーブルを通してホームネットワークに有線接続する \(別売\)](#)」をお読みください。

マルチルーム再生

マルチルーム再生から、AndroidまたはiOSデバイスから複数のChromecast対応/AirPlay /Alexaスピーカーに音楽をストリーミングすることができます。



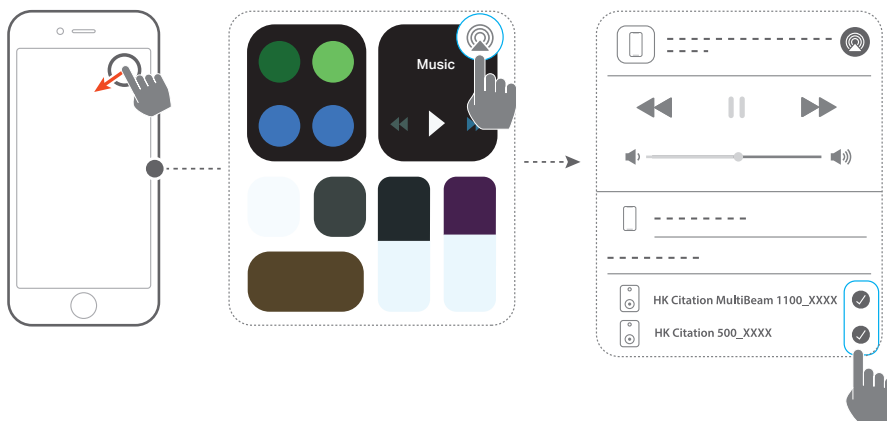
Chromecast built-in

- 1) Google Homeアプリから、複数のChromecast対応スピーカーを同一のネットワークに接続し、複数の部屋に割り当て、必要な場合はグループを作成してください。
- 2) スマートホンまたはタブレットでChromecast対応アプリを起動してください。
- 3) 音楽を再生します。📶を押して、グループ化されたスピーカーを選択してください。

注：

- 詳細については、Google Homeアプリをご参照ください。
- ローカルネットワークの帯域幅に応じて、最高6台のChromecast対応スピーカーに音楽をストリーミングすることができます。

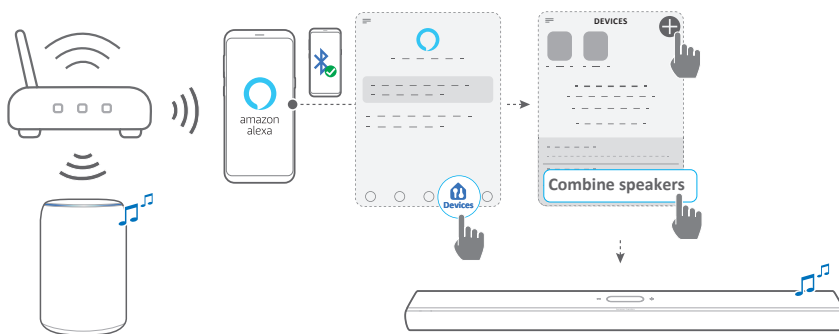
AirPlay



- 1) iOSデバイスでコントロールセンターに入ります。
- 2) 📶をタップし、必要に応じて複数の接続済みのスピーカーを選択してください。
- 3) アプリで音楽ストリーミングを開始します。

Alexaマルチルームミュージック

- 1) Amazon Alexaアプリを通してAmazonアカウントにサウンドバーを接続設定したことをチェックしてください（「[Amazon Alexaアプリを通したWi-Fi設定](#)」をお読みください）。
- 2) Amazon Alexaアプリで、サウンドバー用のマルチルームミュージックグループを作成してください。詳細については、Amazon Alexaアプリをご参照ください。



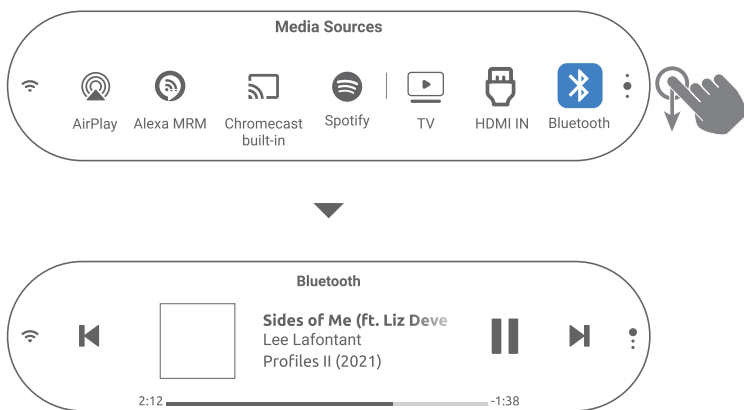
- 3) Alexa MRMを通した音楽ストリーミング中に、リモコンの **PLAY/PAUSE** を押すと音楽ストリーミングを一時停止します。再開するにはボタンを再度押してください。

注：

- 詳細については、Amazon Alexaアプリをご参照ください。

タッチ画面上での音楽再生の操作

- 1) 音楽再生中に下にスワイプすればソース画面からユーザー画面に切り替えることができます。



- 2) ユーザー画面でアイコンをタップすると、再生の一時停止/再開、または前の画面に戻る/次のトラックへスキップすることができます。

/ サウンドの設定

注：

- 低音/高音を調節するには、「[低音の調節](#)」と「[高音の調節](#)」をお読みください。

スマートサラウンド

初期設定ではスマートサラウンドが有効なので、深みのあるサウンドエフェクトでTV番組を楽しめます。ニュースや天気予報といったTV番組では、スマートサラウンドを無効にしてサウンドエフェクトを低減し、スタンダードモードに切り替えることができます。

- タッチ画面上で、**Settings (設定)** ページにスワイプし、**Audio (オーディオ)** ->**Smart Surround (スマートサラウンド)** をタップしてスマートサラウンドを有効または無効にすることができます。
- スマートサラウンドが有効な場合、TV入力でEQ設定とMultiBeamサラウンドサウンドが適用されます。
- スマートサラウンドが無効になっている場合は、スタンダードEQが適用されます。

注：

- Citation Surroundスピーカーがサウンドバーに接続されていない場合、リモコンの**SURROUND** ボタンを押してスマートサラウンドを有効または無効にすることもできます。
- 次回の使用時にサウンドバーの電源を入れると、スマートサラウンドは再度、自動的に有効になります。

オーディオシンク


ビデオコンテンツの動画とオーディオにズレを感じる場合は、オーディオシンク機能により調整ができます。

- 1) タッチ画面上で、**Settings (設定)** ページにスワイプして、次に**Speaker Setup (スピーカーの設定)** ->**Audio Sync (オーディオシンク)** をタップしてください。
- 2) 上または下にスワイプして、動画に合った速さのオーディオを選択してください。

ナイトモード

この機能を有効にすると、自動的に大きなサウンドの音量を下げるができます (Dolby Digitalサウンドトラックでのみ使用可能)

ナイトモードを有効または無効にするには：

- リモコンで、 ボタンを3秒間長押しして、次にVOL -を押します。
- またはタッチ画面で、Settings (設定) ページにスワイプして、次にAudio (オーディオ) ->Night Mode (ナイトモード) をタップしてください。

ピュアボイス

この機能を有効にすると、ボーカルの明瞭度が上がり、音声を聞き取りやすくなります。

- タッチ画面上で、Settings (設定) ページにスワイプし、Audio (オーディオ) ->PureVoice (ピュアボイス) をタップしてピュアボイスを有効または無効にすることができます。

注：

- 次回の使用時にサウンドバーの電源を入れると、ピュアボイスは再度、自動的に有効になります。

工場出荷時設定への 復元

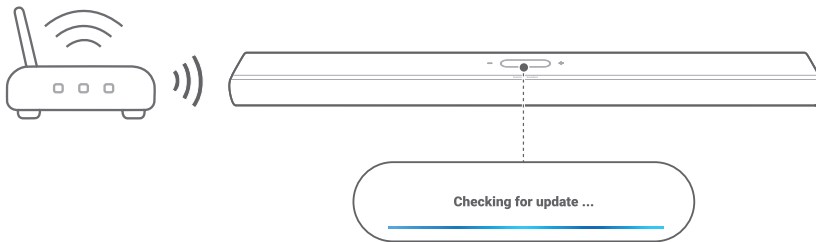
工場出荷時の初期設定に復元することにより、サウンドバーの個人的な設定は全て削除されます。

- サウンドバーの背面にある、**RESET**ボタンを5秒以上長押ししてください。
- または、タッチ画面上で**Settings (設定)** ページにスワイプし、次にサブメニューで**Options (オプション)** -> **Factory reset (工場出荷時設定へのリセット)** をタップして確定します。

ソフトウェアのアップデート

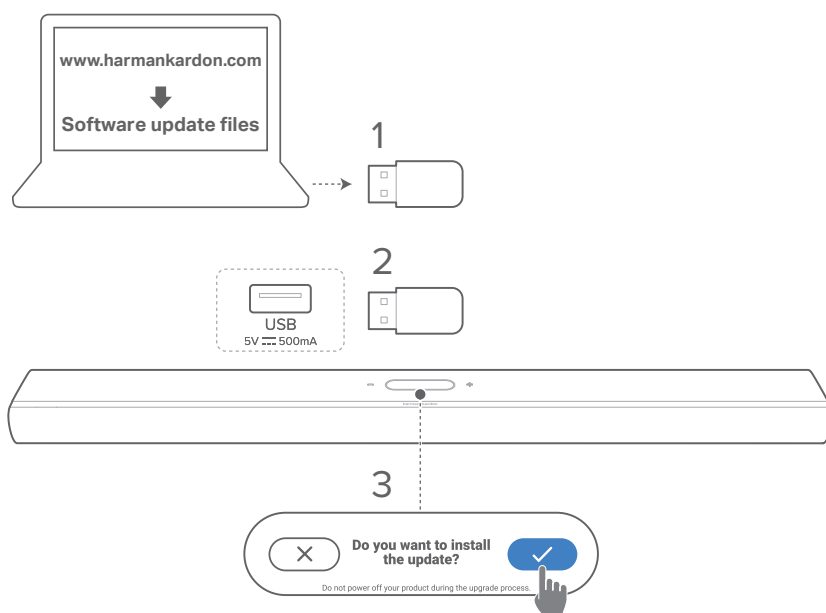
最適なパフォーマンスと最高の音声をご体感いただくため、Harman Kardonは今後サウンドバーのソフトウェアアップデートを提供する可能性があります。アップデートファイルのダウンロードに関する詳細については、www.harmankardon.comにアクセスするか、またはHarman Kardonコールセンターにご連絡ください。

オンラインでのアップデート



- サウンドバーをホームネットワークに接続してください。新しいソフトウェアのアップデートがある場合は、自動的にオンラインで行われます。
 - **Updating (アップデート中)** : ソフトウェアのアップデート中です
 - 正常にソフトウェアのアップデートが終了すると、サウンドバーは自動的に再起動します。

USBストレージデバイスでのアップデート



- 1) USBストレージデバイスの最上階層のフォルダ（ルートディレクトリ）にソフトウェアアップデートファイルを保存したことをチェックしてください。
- 2) USBデバイスを接続してください。
→ サウンドバーが自動的にアップデートファイルを検出した後、確認ボックスが表示されます。
- 3) 確認しアップデートプロセスを開始します。
→ **Updating (アップデート中)**：ソフトウェアのアップデート中です
→ 正常にソフトウェアのアップデートが終了すると、サウンドバーは自動的に再起動します。

注：

- サウンドバーの電源はオンのままにし、ソフトウェアアップデートが完了するまで差し込んだUSBストレージデバイスを取り外さないでください。

／ 製品の仕様

一般仕様

- モデル：CITATION MULTIBEAM 1100
- 電源：100–240V AC、～50/60Hz
- 総合出力（最大@THD 1%）：630W
- サウンドバーの出力（最大@THD 1%）：
8x60Wウーファーおよびフルレンジ+3x50Wツイーター
- サウンドバーのスピーカー構成：6x（55x90）mm楕円形ド
ライバー、3x（25mm）ツイーター、2x（70mm）ア
ップファイアリングフルレンジドライバー
- ネットワーク接続した状態でのスタンバイ時消費電力：
2.0W未満
- 動作保証温度：0°C–45°C

HDMIの仕様

- HDMIビデオ入力：1
- HDMIビデオ出力（eARC対応）：1
- HDMI HDCPバージョン：2.3
- HDR：HDR10, Dolby Vision

オーディオ仕様

- 周波数特性：52Hz-20kHz（–6dB）
- オーディオ入力：1 光デジタル端子、Bluetooth、
Chromecast built-in、AirPlay、Alexa MRM

USB仕様：

- USBポート：Type A（FWアップデート専用/充電非対応）
- USB定格：5V DC、0.5A

ワイヤレス仕様

- Bluetoothバージョン：5.0
- Bluetoothプロファイル：A2DP 1.2、AVRCP 1.5
- Bluetooth対応トランスミッター周波数帯域：2400MHz～2483.5MHz
- Bluetooth対応トランスミッター出力：13dBm未満（EIRP）
- Wi-Fiネットワーク：IEEE 802.11 a/b/g/n/ac（2.4GHz/5GHz）
- 2.4G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域：2412-2472 MHz（2.4GHz ISMバンド、USA 11チャンネル、ヨーロッパとその他の地域 13チャンネル）
- 2.4G Wi-Fiトランスミッター出力：19dBm未満（EIRP）
- 5G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域：5.15-5.35GHz、5.470-5.725GHz
- 5G Wi-Fiトランスミッター出力：20dBm未満（EIRP）
- 5G WISAトランスミッター周波数帯域：5.15-5.35GHz、5.470-5.725GHz
- 5G WISAトランスミッター出力：14dBm未満（EIRP）

寸法

- 寸法（幅×高さ×奥行）：1150×65×130mm
- 重量：約4.6kg
- 外装寸法（幅×高さ×奥行）：1250×160×190mm
- 外装重量：約7.2kg

トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。製品使用時に問題がある場合は、以下の点をチェックしてください。

システム

本機の電源が入らない。

- ・ 電源ケーブルが電源とサウンドバーに挿し込まれているかどうかチェックしてください。

ボタンを押してもサウンドバーが反応しない。

- ・ サウンドバーを工場出荷時設定に復元します（[「工場出荷時設定への復元」](#)をお読みください）。

サウンド

サウンドバーから音が出ない。

- ・ サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- ・ リモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- ・ サウンドバーをテレビまたは他のデバイスに正しく接続してください
- ・ サウンドバーを工場出荷時設定に復元します（[「工場出荷時設定への復元」](#)をお読みください）。

音が歪んでいる、エコーのように聞こえる

- ・ TVのオーディオをサウンドバーで再生している場合は、TVがミュート状態になっていてTVのスピーカーから音声が出力されていないかをご確認ください。

オーディオと動画が同期していない。

- ・ オーディオシンク機能を有効にしてオーディオと動画を同期させてください（[「オーディオシンク」](#)をお読みください）。

ドルビーアトモスのハイレベルのサウンドエフェクトにならない

- TVがHDMI ARCのみに対応している場合、サウンドバーのHDMI IN端子を通してサウンドバーにデジタルデバイスが接続されていることをご確認ください（「[HDMI ARC](#)」をお読みください）。
- TV/HDMIソースから映画を再生している場合は、ドルビーアトモスのサウンドエフェクトをお楽しみください。ドルビーアトモスはBluetoothまたはキャストリングアプリ（Chromecast built-in、AirPlayまたはAlexaに対応）のストリーミングには対応していません。

サウンドの自動調整に失敗した。

- リスニング位置のバックグラウンドノイズを減らしてください。

Citation Surroundスピーカーはペアリングされていますが、誤ったチャンネルを再生しています。

- **Speaker Setup (スピーカーの設定)** メニューで、Citation Surroundスピーカーを見つけてください。各スピーカーの「play」ボタンを押してテスト音を聞き、左右のサラウンドスピーカーを確認してください。チャンネルが正しくない場合は、センターアイコンを押してチャンネルを切り替えてください。

Bluetooth

サウンドバーにデバイスを接続できない。

- デバイスのBluetoothが有効になっているかどうかチェックしてください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応デバイスとペアリングされていた場合は、Bluetoothをリセットしてください（「[別のBluetooth対応デバイスに接続するには](#)」をお読みください）。

- Bluetooth対応デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合、サウンドバーのBluetoothをリセットして、サウンドバーとBluetooth対応デバイスのペアリングを解除し、再度Bluetooth対応デバイスとサウンドバーをペアリングしてください（[「別のBluetooth対応デバイスに接続するには」](#)をお読みください）。

接続したBluetooth対応デバイスからのオーディオ品質が良くない。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Bluetooth対応デバイスとの接続が、切れたりつながったりする。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Wi-Fi

Wi-Fiへの接続に失敗した

- Wi-Fiの電源が入っていることをご確認ください。
- ネットワークの選択とパスワードの入力に間違いがないことをご確認ください。
- ルーターまたはモデムの電源が入っていて、有効範囲内にあることをご確認ください。
- ルーターの設定で、セキュリティタイプがWPA2または自動に設定されていることをご確認ください。
- サウンドバーがスマートフォンまたはタブレットと同一のワイヤレスLANに接続されていることをご確認ください。
- Wi-Fiの設定が困難な場合は、**System Info (システム情報) -> Network (ネットワーク) -> Reset (リセット)** をタップしてWi-Fiがリセットされていることを確認してください。

- iOSデバイスのAirPlayスピーカー設定でWi-Fiに接続したサウンドバーが、Google HomeアプリでChromecast built-inを設定した際に、またはAmazon AlexaアプリでAlexaの設定をしたときと同一のWi-Fiネットワークにサウンドバーを接続していることをご確認ください。

Google Homeアプリでデバイスが見つからない。

- サウンドバーの電源が入っていることをご確認ください。
- ネットワークが正しく機能していることをご確認ください。
- ルーターまたはモデムの電源が入っていて、有効範囲内にあることをご確認ください。

Amazon Alexaアプリでデバイスが見つからない。

- 「[手動：ガイド付き設定](#)」のステップに従ってください。Alexaでサウンドバーを見つけることができます。

再生

BluetoothからChromecast built-in、AirPlay、Alexaまで、サウンドソースを切り換える際に音楽再生がスムーズに行えない。

- キャスティング・再生の音質はサウンドバーとスマートフォン、タブレット、そしてPCのような送信側機器が接続しているネットワークの混雑具合やカバー範囲によります。

BluetoothからTV/HDMI INへ、そして再度Bluetoothにサウンドソースを切り換える場合に音楽再生が再開しない。

- BluetoothからTV/HDMI INへとサウンドソースを切り換える際に、Bluetooth対応デバイスの音楽再生は停止します。ソースを切り換えてBluetoothソースに戻す場合、再度Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始してください。

Amazon Alexaアプリでサウンドバーが「オフライン」状態になっている、またはAlexa MRM関連の再生に問題が発生している。

- サウンドバーを元の状態に戻すには、サウンドバーを工場出荷時設定に復元します（「[工場出荷時設定への復元](#)」をお読みください）。

リモコン

リモコンが使えない。

- 電池の寿命が切れていないかどうかをチェックしてください。電池が寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとサウンドバーとの距離を縮めたり、角度を変えたりしてみてください。

TVリモコンラーニングの完了に失敗した

- TVのリモコンが赤外線方式のものかどうかチェックしてください。赤外線コマンド学習機能はBluetooth方式のTVリモコンには対応していません。

/ 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



The Wi-Fi CERTIFIED™ Logo is a certification mark of the Wi-Fi Alliance®.



Dolby, Dolby Vision, Dolby Atmos, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 2012–2020 Dolby Laboratories. All rights reserved.



Google, Android, Google Play, Chromecast built-in and other marks are trademarks of Google LLC.



Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple, and AirPlay are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

To control this AirPlay 2–enabled speaker, iOS 11.4 or later is required.



Amazon, Echo, Alexa, and all related logos are trademarks of Amazon.com, Inc. or its affiliates.



Use your phone, tablet or computer as a remote control for Spotify. Go to [spotify.com/connect](https://www.spotify.com/connect) to learn how.

The Spotify Software is subject to third party licenses found here: <https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>.

harman / kardon[®]
by HARMAN